



木協インフォメーション

一般社団法人香川県木材協会
令和4年度 夏号
(7月～9月)

* 2022 ウッディフェスティバル 3年ぶりの開催

10月8日(土) 9日(日)

高松市林町サンメッセ香川 小展示場・第2屋外展示場

6月14日開催の香川県木材需要拡大協議会において、ウッディフェスティバル開催が決定しました。

7月11日、木材需要拡大協議会の構成団体(10団体)からご推薦いただいた方々で、第1回実行委員会を開催し、本会の山田健二実行委員長の下、コロナ感染対策を講じて、ご来場者に安心して楽しんでいただけるイベントにするため、各部会の委員が着々と準備を進めていますのでご期待ください。

また、当日のお手伝い等(9月20日付けお願い文送付済み)ご協力をよろしくお願いいたします。



* 講演会開催

10月9日(日) 13:30～ 「火事に負けない木造建築」

サンメッセ香川2階 特別会議室 入場無料：先着30名様



令和4年度 JAS 構造材実証支援事業の普及啓発として講演会を開催します。

講師 桜設計集団一級建築士事務所代表
安井 昇 氏

* ライブ配信も行います。

ウッディフェスティバル同時開催

1階小展示場でもご視聴いただけます。

***かがわ県産ひのき住宅助成事業**



補助金交付申請受付中！認証ひのき材を構造材に使用した場合は、1㎡あたり1万円！内装材に使用した場合には、1㎡あたり3,000円の助成が受けられます。認証ひのき材を購入できる業者等は、木協 HP 上に香川県産認証機関が UP されています。この認証機関を通して流通されたヒノキ製品等が対象になりますので、ご注意ください。（詳細は香川県庁 HP でご確認を。）

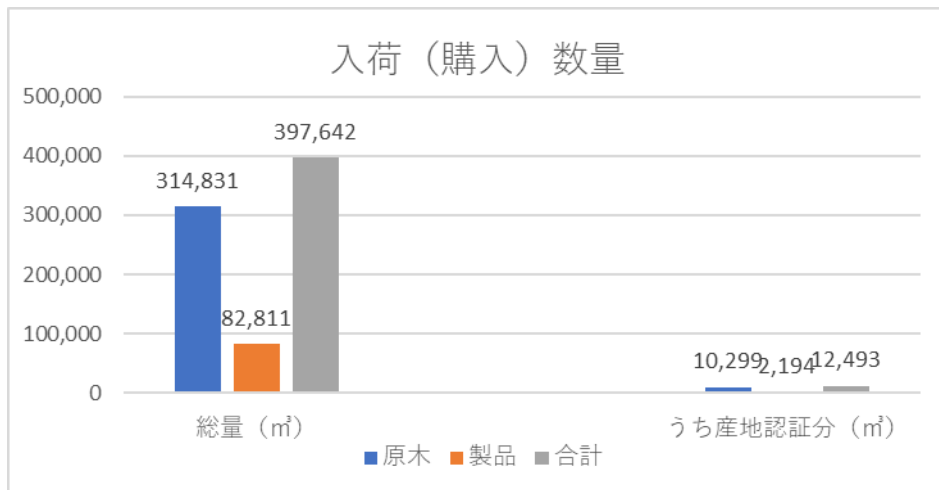
県産木材認証制度運営協議会で受付等に関する業務を行っており、現地の検査に行っています。



令和3年度香川県産木材認証実績報告書

	入荷(購入)数量		出荷(販売)数量(件数)	
	総量	うち産地認証分 及び品質認証分	総量	うち産地認証分 及び品質認証分
原木(丸太)	314,831 m ³	産地認証 10,299 m ³	299,449 m ³	産地認証 7,600 m ³ 39 件
木材製品	82,811 m ³	産地認証 2,034 m ³ 品質認証 160 m ³	80,163 m ³	産地認証 832 m ³ 158 件 品質認証 957 m ³ 91 件
入荷				
	総量(m ³)	うち産地認証分(m ³)		
原木	314,831	10,299		
製品	82,811	2,194		
合計	397,642	12,493		

出荷	総量(m ³)	うち認証分(m ³)	件数
原木	299,449	7,600	39
製品	80,163	1,789	249
合計	379,612	9,389	288



* **県産木材強度試験**

香川県からの委託を受けて「香川県産木材強度試験」を実施しました。

1. 試験体

種類	寸法 (mm)			数 (本)	材積 (m³)	摘要
	縦	横	長さ			
重ね梁	210	105	4000	25	2.2050	県産認証ヒノキ材 105 mm×105 mm×4000 mm (仕上がり寸法) を 2本用いて、「接着重ね梁の製造マニュアル」 に準じて製造されたもの

香川県産のヒノキの強さを、実際の重ね梁を使って試験したところ、建築に使える十分な強度を持っていることがわかりました。

(試験実施前)



(せん断破壊 曲げ強度 51.6N/mm² E110)



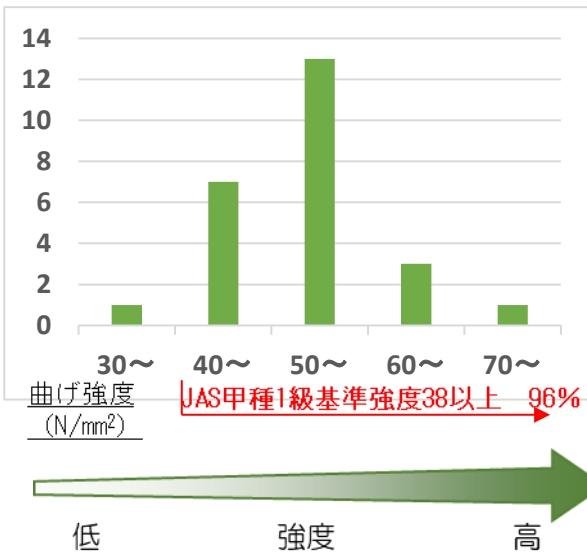
<試験結果> (試験体数 重ね梁 25)

内 容	単 位	重ね梁※ 1 (210mm × 105mm × 4m)		
		平均	下限	上限
曲げ強度	N/mm ²	52.3	36.0	70.3
曲げヤング係数※ 2	kN/mm ²	11.07	9.40	12.81
最大荷重	kN	64.3	44.4	86.2
含水率	%	9.1	8.2	11.6

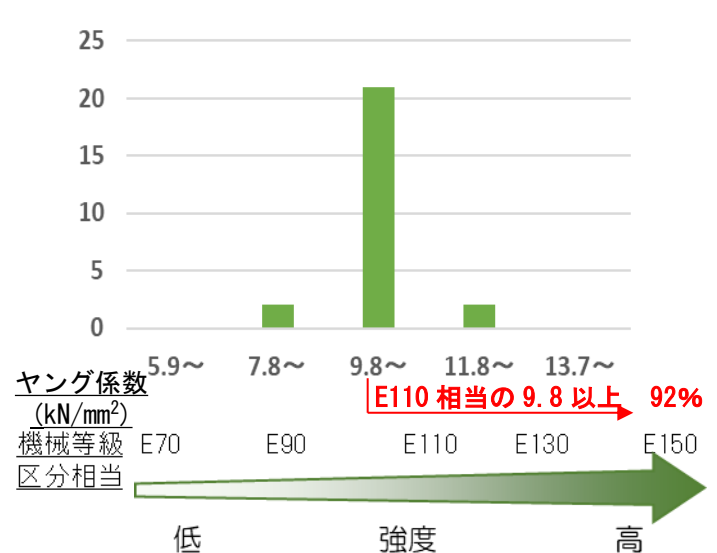
※ 1 重ね梁：柱の大きさの角材を 2 本～3 本接着したもので、梁や桁などの厚みの必要な部材として使うことができます。

※ 2 ヤング係数：変形しにくさを表す係数で、数字が大きいほど強度が高いと考えることができます。

<香川県産ヒノキの曲げ強度出現頻度>



<香川県産ヒノキ曲げヤング係数出現頻度>



曲げ強度・・・JAS甲種1級の基準強度38N/mm²以上が96%を占めました。
曲げヤング係数・・・JAS機械等級※ 3のE110以上に相当する9.8 kN/mm²以上が92%を占めました。

※ 3 JAS規格の木材の強さの区分で、数値が大きくなるほど強い等級になります。

* 四国四県木材協会等団体長会議開催

7月25日徳島市で開催された、四国四県団体長等会議（25名出席）で、全木連、四国森林管理局、県、木材協会（非住宅木造建築物など木材需要対策及びJAS普及の推進等について）の情報交換が行われました。

さらに、四国支部から全木連へ①国産材による木材の安定供給体制の構築に向けた抜本的な支援②2050年カーボンニュートラルの実現に貢献する木造建築物の整備の加速化③JAS製材品の供給促進を全木連へ要望することが決まりました。



* 木材産業協同組合

特自検（特定自主検査はお済みですか？）

荷役運搬機械と建設機械は、労働安全衛生法により定期（特定）自主検査が義務づけられています。組合では、フォークリフト検査事業を行っています。是非ご用命ください。



* 検査料 3トン未満…33,000円・3トン以上 39,600円

■ どんな検査を行うのか

検査は、各機械ごとに定められた検査事項について実施し、結果を記録することになっています。

[安衛則 第151条の21、第151条の53、第167条、第194条の23]



■ 検査の記録は

検査の結果は、所定の特定自主検査記録表（チェックリスト）に次の事項を記録して、3年間保存しなければなりません。

検査年月日	検査方法	検査箇所
検査結果	検査実施者名	
検査結果の措置内容		

[安衛則 第151条の23、第151条の55、第169条、第194条の25]



■ 検査する人は

法令で定められた資格を有する検査者、または登録検査業者のいずれかによって特定自主検査を実施することになっています。

[安衛法 第45条第2項、第54条の3、第54条の4]

法定検査機器

事業者（ユーザー）からの依頼により特定自主検査を実施する登録検査業者は、次に示す検査機器を最低1セット以上保有することが、法律で決められています。

- 1 圧縮圧力計
- 2 回転計
- 3 シックネスゲージ
- 4 ノズルテスター
- 5 油圧計
- 6 電圧計
- 7 電流計
- 8 探傷器
- 9 摩耗ゲージ



3年ぶりのウッディフェスティバル開催まで後11日、最終の実行委員会を29日(木)に開催して、10月7日の会場準備まで、目まぐるしい日々が続きます。イベント開催時のチェックリストもホームページに掲載し、コロナ感染対策を講じての開催です。ご来場者の方々に安心して楽しんでいただけるよう、実行委員の皆で準備を進めてきました。9月になり、週末ごとの台風に絶句！2018年は台風25号接近のため屋内展示場のみで開催、2019年は台風19号接近に伴い1日だけ開催、2020年はコロナ感染防止のため中止、2021年は開催に向けての準備途中で感染者急増のため中止、そんなこんなウッディフェスティバル開催が迫ってきています。実行委員長をはじめ各部長他、イベント開催に向け一生懸命準備をしています。今年のウッディフェスティバルは、「晴天でありますように！2日間開催できますように！」

追伸 各情報等、メール配信をさせていただきたいので、まだの方はお知らせください。

*事務局より

高松市郷東町796番地71
一般社団法人香川県木材協会
TEL087-881-9343・FAX087-881-9338
Http://www.kagawa-mokkyo.com
E-mail:k-mokkyo@msg.biglobe.ne.jp